

別紙

【参考資料】体育科におけるデータ活用・ICT活用、キャリア教育について

体育科におけるデータ活用・ICT活用

[小学校学習指導要領解説（体育編）](#)

[中学校学習指導要領解説\(保健体育編\)](#)



(小学校)

※ 各運動領域に「ICT 機器を活用して自己の課題を見付ける例」等の記載

(例)「5・6年 体づくり運動」

ICT 機器を活用して動き方を確認し、どのようなポイントを意識して運動を行うと動きが高まるのかを見付け、それを生かした運動を工夫すること。

(中学校)

第2章 保健体育科の目標及び内容

第2節 各分野の目標及び内容 2 内容

…(略)…互いに教え合う時間を確保するなどの工夫をするとともに、指導事項の精選を図ったり、運動観察のポイントを明確にしたり、ICT を効果的に活用するなどして、体を動かす機会を適切に確保することが大切である。

第3章 指導計画の作成と内容の取扱い

1 指導計画の作成 2 (3)

…(略)…例えば、体育分野においては、学習に必要な情報の収集やデータの管理・分析、課題の発見や解決方法の選択などにおける ICT の活用が考えられる。

キャリア教育

[小学校学習指導要領](#)

[中学校学習指導要領](#)



(小学校学習指導要領より抜粋)

総則

第4 児童の発達の支援

1 児童の発達を支える指導の充実

(3) 児童が、学ぶことと自己の将来とのつながりを見通しながら、社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を身に付けていくことができるよう、特別活動を要としつつ各教科等の特質に応じて、キャリア教育の充実を図ること。

特別活動

第2 各活動・学校行事の目標及び内容

【学級活動】

2 内容

(3) 一人一人のキャリア形成と自己実現

ア 現在や将来に希望や目標をもって生きる意欲や態度の形成

学級や学校での生活づくりに主体的に関わり、自己を生かそうとするとともに、希望や目標をもち、その実現に向けて日常の生活をよりよくしようとすること。